



本日は、「堺の町をそぞろ歩き隊」にご参加いただき、ありがとうございました。緊急事態宣言下で、さかい利晶の杜」への訪問はかないませんでした。千利休のゆかりの地を地図にしましたので、ぜひ、そぞろ歩いて見てくださいね！

【今井屋敷跡】

今井宗薫（そうくん）は、堺の豪商で茶人の今井宗久の長男として生まれ、豊臣秀吉の近侍となった。秀吉の死後は徳川家康の寵をうけ、関ヶ原の戦いで功をあげ、河内・和泉二国の代官となった。大坂冬の陣に際して関東に通じる嫌疑を受け、家財を没収され、大坂城に監禁された。のち、逃れて城中の様子を家康に伝え、徳川軍に従った。現在地にあった宗薫の屋敷は、織田有楽斎から譲り受けたもの。

【さかい利晶の杜】

「千利休」と「与謝野晶子」をテーマにした施設。個性的な企画展や堺の観光情報など、様々な楽しみ方ができる。「千利休屋敷跡」に面した茶の湯体験施設には、立礼（りゅううれい）茶席や本格的な茶室が備わり、気軽に茶の湯が体験できる。

また、千利休がつくった茶室で唯一現存する国宝の茶室「待庵」の創建当初の姿を復元した「さかい待庵」がある。

【武野紹鷗（たけのじょうおう） 屋敷跡】

文亀2年(1502年)、大和国吉野郡で生まれる。学問を好み、三条西実隆(さんじょうにし さねたか)に学んだ和歌において、稽古(勉強・経験の積み重ね)と創意工夫(学んだ通りをするのみではなく、自分で新しく生み出す)の大切さを教わった。紹鴎は実隆から教わったこの思想を茶道にも取り入れていくこととなる。後に紹鴎は弟子を持ち、今井宗久、足利義輝、千利休らを育てた。

【千利休屋敷跡】

大永2年(1522年)、堺今市町(現在の宿院西1丁)の豪商魚屋(ととや)の長男・与四郎として生まれた利休は、17歳の時北向道陳に茶湯を学び、のちに武野紹鷗に師事し、わび茶を大成させた。屋敷跡には椿の井戸が残っているが、椿の炭を底に沈めていたという。利休ゆかりの大徳寺山門の古い部材を用いて建てられた井戸屋形がある。

感想を送って
ポストカードをもらっちゃおう！

今日の感想を書いて、メールを送ってくださいね。ホームページ掲載に採用された人には、堺市の特製ポストカードをプレゼント！

お便り待ってます～

堺の町をそぞろ歩き隊事務局

info@sakai-sozoro.com

事務局のメールの



QRコードはこちら

堺の町をそぞろ歩き隊の
ホームページを見てくださいね♪

今日のイベントの様様を、10月1日にホームページにアップします。
イベントの思い出として、こちらもぜひ、お楽しみください。

堺の町をそぞろ歩き隊ホームページ

<http://sakai-sozoro.com/>

ホームページの



ORコードはこちら